

SUGO

Round. 4



ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE
第4戦 SUGO スーパー耐久 4時間レース
2026年7月4日（土）～7月5日（日） 決勝レース結果：7位



特別スポーツ走行／STMO 専有走行

7月2日（木） 特別スポーツ走行 天候：曇り～雨 路面：ドライ～ウエット
7月3日（金） STMO 専有走行 1回目／2回目

第2戦鈴鹿では優勝、そして第3戦富士24時間でノーミスの戦いを経ての3位表彰台と、今季これまで好調なシーズンを送ってきた KOKUSAI GROUP SPORTS TEAM。シリーズランキングでも2位につけ迎える第4戦の舞台は、宮城県のスポーツランド SUGO だ。

迎えた第4戦は7月2日（木）に特別スポーツ走行が4回行われたが、1回目は久保凜太郎が、2回目は呉良亮がドライブ。ただ、その後は雨が強まってしまい、KOKUSAI GROUP GT4 RS CS は初日の走行を終えた。

明けて7月3日（金）は午前9時から専有走行1回目が行われた。曇り空ではあるが、前日の雨が残りウエットコンディション。1回目は呉と北園将太がドライブし、路面が乾いた午後0時45分からの2回目は呉、久保、そして山野直也がドライブした。

ただドライとなった2回目のベストタイムは1分29秒415というもの。順位は10番手と苦しいものとなった。「ウエットが効いてはいますけど、それを跳ね返すパワーがなく、クルマとしても SUGO は苦手としているコース。自分の



力不足です」と久保は厳しい表情を浮かべた。苦手意識があった SUGO だったが、性能調整の影響もあり想定以上。セットアップ改善でなんとか性能差を埋め、上位を目指していくことになった。

公式予選

7月5日（日） 公式予選 天候：雨 路面：ウエット



KOKUSAI GROUP GT4 RS CS が出走するグループ1は7月4日（土）は走行がなく、7月5日（日）は午前8時10分から公式予選が行われた。この日は当初曇りの予報が出ていたが、朝から細かい雨が降り続き、路面はウエットとなっていた。

今回は変則的なノックアウト形式の予選となっていたが、まず Q1 となったBドラ

イバー予選に出走した久保は、1分34秒263というタイムを記録するも8番手。Q2はB組となったが、ここでは呉がスリックを履き、1分30秒263を記録。B組最速で、総合では6番手につけることになった。

ただ、Q2の後のC/Dドライバー予選は、霧が濃くなってしまい走行がキャンセルされてしまった。

決勝レース

7月5日（日） 決勝 天候：曇り 路面：ドライ

公式予選終了から3時間のインターバルで迎えた決勝レースは、霧は晴れたもののわずかに細かい雨粒が舞う難しいコンディションとなっていた。路面も比較的乾いてきてはいるものの、レコードライン以外はわずかに濡れている難しい状況だった。

そんなコンディションの決勝レースで、KOKUSAI GROUP GT4 RS CS のスタートドライバーを務めたのは久保。1周目、グリッドから2ポジション落とした8番手につけていた久保だったが、今回はやはり金曜に感じたようにライバルに対しパワーが不足し、ペースが苦しい。久保をもってしても2周目以降、前を行く5番手集団からはギャップを広げられていき、#15 GR Supra GT4 にテールを脅かされる展開が続いた。



そんな状況下でもタイヤを護りながら、なんとか上位に食らいつく走り続けた久保は、ペースが下がった#34 R8 LMS GT4 や #8 GR Supra GT4 をかわしながら戦っていった。

久保は56周でピットインし、山野に交代する。KOKUSAI GROUP

GT4 RS CS はコースに戻ると9番手。山野も1分30～31秒台のラップタイムをコンスタントに記録し、安定した戦いをみせていたが、ST-Z 勢の上位は1分28～29秒台で周回しており、苦しい戦いとなっていたのは間違いなかった。気温が上がる季節となり、小排気量自然吸気エンジンの KOKUSAI GROUP GT4 RS CS に対し、ターボエンジンのライバルたちが優位にレースを進めていく。チームメンバーたちにとってはもどかしい展開が続いていた。

山野は91周でピットに戻り、呉に交代。アウトラップ後、95～96周目には1分29秒台のタイムを記録し、呉の速さの片



鱗を示し、ポジションも7番手となっていたが、そこから上の順位を狙うのは厳しい状況。呉は134周までコンスタントな走りをみせ、最終スティントを久保に託し、そのまま7位でフィニッシュした。

パワーの面でライバルたちに対し劣勢となってしまった第4戦だが、苦しい中でもチームの全員がしっかりと戦い抜き、貴重な4ポイントを獲得することができた。しかしランキングは2位から3位に下がり、上位に対して差を広げられてしまっている。

このままの性能調整が続く限り、暑い時期は苦戦必至だ。状況を打開すべく、チームは戦いを続けていく。

DRIVER COMMENTS



RYOSUKE KURE 呉 良亮

「自分のスティントでは前に追いつくことなく、淡々と走る展開になってしまいました。途中、後方から来たライバルも全然速さが違いました。僕たちは自然吸気エンジンなので、コースとの相性が良くなかったですね。予選ではQ2で良いタイムも出すことができましたが、濡れている中でスリックを履いたのが当たりましたね。次のオートポリスも似た性格をもっているのが難しいところはあると思いますが、タイトル争いもあるので諦めずに頑張りたいです」



RINTARO KUBO 久保 凜太郎

「今回苦しいことが分かってはいましたが、ウエットの予選で8番手だったので、これはまずいと感じました。金曜からクルマはすべて見直して、走行がなかった土曜日もセットアップの見直しもしてこの状況でしたからね。そんな中、今回はミスをしづらい、安定感があるセットアップを見つけられたので、そこは収穫でした。仕方ないところはあると思いますが、今季は強いライバルがずっと強いので、チャンピオン争いは少し苦しくなりましたね」



SHOTA KITAZONO 北園 将太

「昨年も SUGO は性能調整に苦しむことになりましたが、今年この SUGO でそれを思い出すことになりました。今季はランキングも上位でウエイトも積んでいますが、ラップタイムでこれだけ差があるのは調整になっていないのではと思います。今回、適正ではない明らかな差がありましたが、それに向けた改善ありませんでした。我々は消化試合をするつもりはないので、今後も運営側に訴え続けていきたいと思っています」



NAOYA YAMANO 山野 直也

「もともと夏の SUGO、オートポリスはとても苦手で、やむを得ないところもあるのですが、そこを加味して性能調整を決めていただきたいですね。特に最終コーナーからの上りで、何車身もターボ車に置いていかれる展開でした。そんな中で7位で貴重なポイントを獲得ことができましたし、ドライバーもメカニックもノーミスで戦えました。レース内容としては良かったと思います。次戦も厳しい戦いかもしれませんが、7位より上位を目指したいです」



SUPER TAIKYU Round.4 RESULTS



ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026
Empowered by BRIDGESTONE 第4戦
SUGO SUPER TAIKYU
4Hours Race 2026.7.4-5



No 35

BRIDGESTONE ENEOS ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE 第4戦 SUGO スーパー耐久4時間レース
主催：株式会社菅生/菅生レーシングスポートクラブ (SRSC) 公認：一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF)
後援：公益社団法人 宮城県観光連盟/村田町/名取市/紫田町/大河原町/蔵王町/川崎町/河北新報社/岩沼市観光物産協会

主催：株式会社菅生/菅生レーシングスポートクラブ (SRSC)
ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE 第4戦 SUGO スーパー耐久4時間レース
Gr-1 決勝 ST-Z 正式結果表

2026.07.05		SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE (3.5865km)		天候：曇り		コース状況：ドライ		発表：18:45	
Pos	No.	Team	A Driver	B Driver	C Driver	D Driver	Lap	Total Time	Delay
		Type	Best Time	Lap	Best Time	Lap	Best Time	Lap	
1	52	埼玉 GB GR Supra GT4 EV02	松井 宏太	野中 誠太	服部 尚貴	吉田 広樹	159	4h02'03.584	
		TOYOTA GR Supra GT4 EV02	1'28.904 (45)	1'28.249 (43)	1'29.262 (17)	1'27.777 (54)			
2	338	GR Garage Balakong GR Supra GT4	前嶋 秀司	AMER HARRIS			158	4h01'21.343	
		TOYOTA GR Supra GT4 EV02	1'29.641 (71)	1'28.021 (87)			1 Lap		
3	885	シェッドレーシング GR Supra GT4 EV02	水野 大	平中 克幸	国本 雄貴	銘苅 翼	158	4h01'54.973	
		TOYOTA GR Supra GT4 EV02	1'28.947 (41)	1'29.701 (37)	1'28.405 (54)	1'29.521 (26)	1 Lap		
4	34	TECHNO FIRST R8 LMS GT4	加納 政樹	大草 リキ	安田 裕恒		158	4h01'58.093	
		AUDI R8 LMS GT4	1'28.414 (40)	1'28.951 (80)	1'28.298 (38)		1 Lap		
5	20	NANIWA DENSO IMPUL with マグネティヨン Z	松本 貴志	大木 一輝	平峰 一貴	TRELOVER JULES	157	4h00'57.949	
		NISSAN Z NISMO GT4	1'29.956 (40)	1'28.599 (42)	1'28.127 (40)	1'28.336 (35)	2 Laps		
6	25	日産パナソニックレーシング Z NISMO GT4	大塚 繁一郎	富田 竜一郎	篠原 拓朗	松田 次生	157	4h01'30.236	
		NISSAN Z NISMO GT4	1'30.401 (42)	1'28.352 (54)	1'29.641 (30)	1'29.773 (31)	2 Laps		
7	22	KOKUSAI GROUP GT4 RS CS	呉 良亮	久保 康太郎	北園 将太	山野 直也	157	4h02'05.488	
		Porsche Cayman GT4 RS CS	1'29.588 (43)	1'29.674 (79)		1'30.561 (35)	2 Laps		
8	8	青山学院自動車部GR Supra GT4 EV02	田中 優輝	清水 啓伸	佐藤 公哉	JAMES PULL	156	4h01'15.697	
		TOYOTA GR Supra GT4 EV02	1'30.668 (40)	1'28.282 (55)	1'29.504 (15)	1'29.065 (46)	3 Laps		
9	15	岡部自動車 R-n24-7 GR Supra	長島 正明	田中 徹	植田 正幸	元嶋 成弥	152	4h01'27.896	
		TOYOTA GR Supra GT4 EV02	1'34.246 (27)	1'32.047 (32)	1'31.676 (43)	1'29.080 (50)	7 Laps		
10	38	ATLAS APEX GR Supra GT4	Chan Kwan	ZHI QIANG ZHANG	FOK HAI WING	真田 拓海	151	4h01'09.676	
		TOYOTA GR Supra GT4	1'33.114 (38)	1'29.514 (38)	1'32.156 (36)	1'29.811 (39)	8 Laps		

----- 以上完走 -----

参加台数:10台 出走台数:10台 完走台数:10台

完走周回数 111周

Fastest Lap: 52 埼玉 GB GR Supra GT4 EV02 1'27.777 4/159 147.093km/h

※1 No.20 SuperTaikyu 2026-Spr 18(2)「ネット作業違反」ドバイス-(裁定時刻 15:09)

※2 No.38 C Dr. L項 4.4.d「ネットラインネット(ネット入口)」ドバイス-(裁定時刻 16:05)

計時委員長

大会競技長

審査委員長

石田 雅

田中 徹

水野 雅男